

7日 木曜

詩篇

<47> 指揮者のために。コラ人による。賛歌。

47: 《三版では存在した本節を削除し、前節に合流。cf. ESV etc...。組版の際に本節が組み込まれないように注意すること》

47:1 すべての国々の民よ手をたたけ。喜びの声をもって神に大声で叫べ。

47:2 まことにいと高き方【主】は恐るべき方。全地を治める大いなる王。

47:3 国々の民を私たちのもともにもろもろの国民を私たちの足もとに従わせられる。

47:4 主は私たちのために選んでくださる。私たちの受け継ぐ地を。主が愛されるヤコブの誓いを。セラ

47:5 神は上られる。喜びの叫びの中を。

【主】は行かれる。角笛の音の中を。

47:6 ほめ歌を歌え。神にほめ歌を歌え。ほめ歌を歌え。私たちの王にほめ歌を歌え。

47:7 まことに神は全地の王。ことばの限りほめ歌を歌え。

47:8 神は国々を統べ治めておられる。神はその聖なる王座に着いておられる。

47:9 国々の民の高貴な者たちは集められた。アブラハムの神の民として。まことに地の盾は神のもの。神は大いにかがめられる方。

ヨシヤパテ王の時代に、アモン人、モアブ人、エドム人がイラスラエルを攻めましたが、王は全国に断食を命じたので、奇跡的な大勝利を得ました。これはそのときの歌で、主の偉大な力と権威を歌っています。このように主の偉大な出来事を讃えるのは重要なことです。私たちの信仰が正しい基盤に立つことができると、この世の中を見ると、主の権威があまり



感じられない。主の最終的な忍耐は、主の最終的な勝利を与えてくれます。この歌は歴史的な勝利を讃美するもので、主は最終的な勝利を約束されています。主は上りの御国であり、本當に目指すものは、世の苦しみに乗ることを恐れないで、主の責任と愛を背負ってください。

①神のまごころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

